

令和 3 年 3 月 16 日

報道関係者 各位

公益財団法人核物質管理センター

六ヶ所保障措置センター 六ヶ所保障措置分析所における  
低放射性グローブボックス内の火災について

1. 発生日時

令和 3 年 3 月 16 日 10 時 40 分頃

2. 発生場所

公益財団法人核物質管理センター 六ヶ所保障措置分析所 保障措置第 2 分析室\*

\* : 日本原燃株式会社 再処理事業所 分析建屋内地上 1 階 (詳細は添付資料参照)

3. 事象

- ① 作業員 2 名が分析作業中に、六ヶ所保障措置分析所 保障措置第 2 分析室 低放射性グローブボックス No.4 (幅約 1.5 m×高さ約 1 m×奥行約 1 m) (以下、「GBL4」という。)内の廃棄物容器から出火しているのを 10 時 40 分頃に発見したため、直ちに公設消防へ通報するとともに初期消火を開始し、11 時 50 分に初期消火を完了した。その後、14 時 13 分に公設消防により鎮火が確認された。なお、出火の原因は調査中である。
- ② 出火した廃棄物容器は塩化ビニル製であり、サイズは約 10 l である。焼損した範囲は約 40cm×約 40cm であった。なお、GBL4 ではプルトニウム (約 10mg) とウラン (約 100mg) の混合物を取扱中 (プルトニウムとウランの分離作業の準備中) であった。
- ③ 初期消火に際し、職員 2 名に身体汚染 (表面汚染で  $\alpha$  : 最大 0.1 Bq/cm<sup>2</sup>) が確認されたため、除染を行った (内部被ばくなし)。また、GBL4 の前の床面およびその周辺に軽微な汚染 ( $\alpha$  : 最大 1.4 Bq/cm<sup>2</sup>) が確認されたため養生を行った (今後、除染を行う予定である)。
- ④ 室内ダストモニタ、排気ダストモニタおよびモニタリングポストの測定値に変動はなく、本事象による周辺環境への影響はありません。また、負傷者もありません。

4. 添付資料

資料 1 六ヶ所保障措置センター及び六ヶ所保障措置分析所 敷地周辺図

資料 2 六ヶ所保障措置センター及び六ヶ所保障措置分析所 施設配置図

資料 3 六ヶ所保障措置分析所及びモニタリングポスト配置図

資料 4 六ヶ所保障措置分析所 地上 1 階平面図

以 上

【問い合わせ先】

公益財団法人核物質管理センター

六ヶ所保障措置センター

所長 緑川 光浩

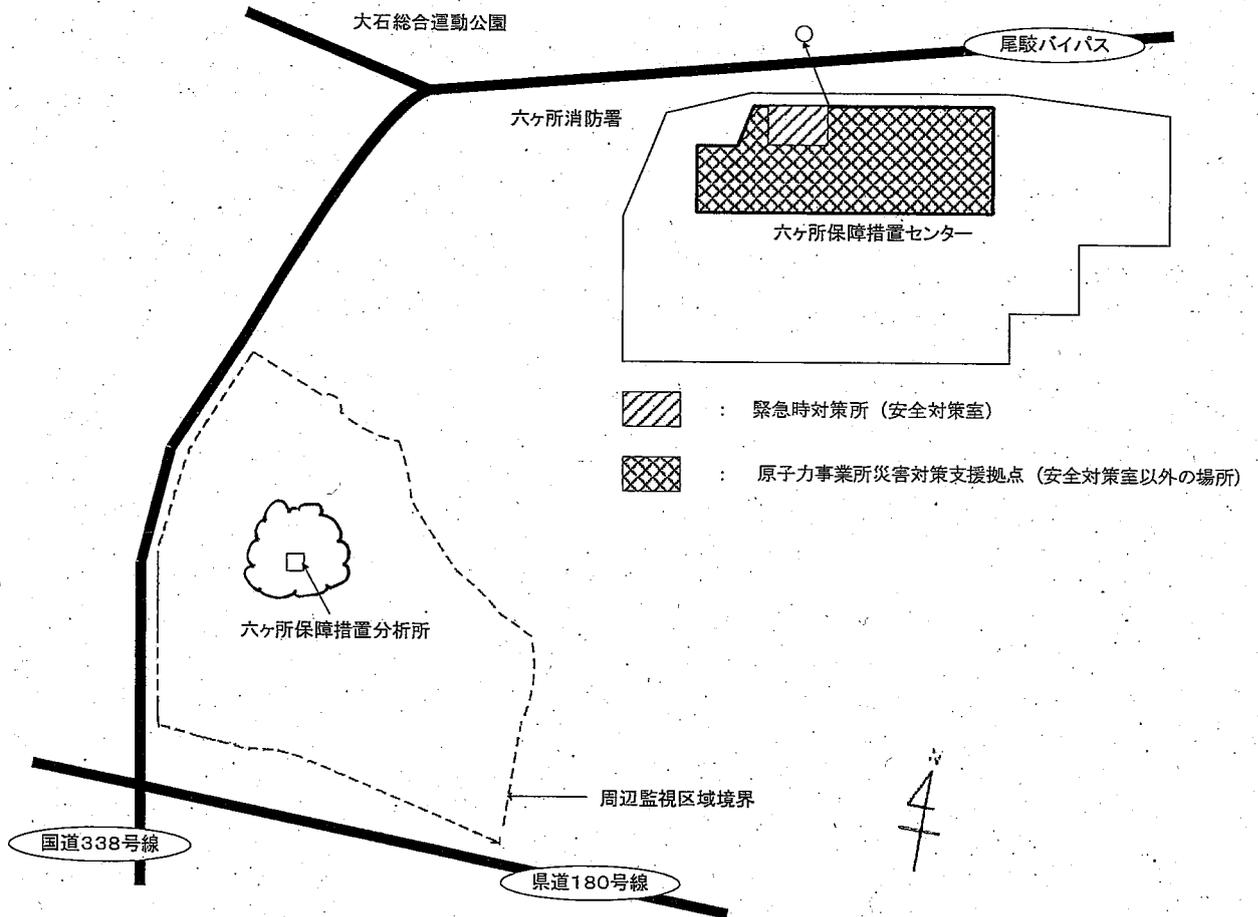
電話：0175-71-0460（代表）

FAX：0175-71-0477

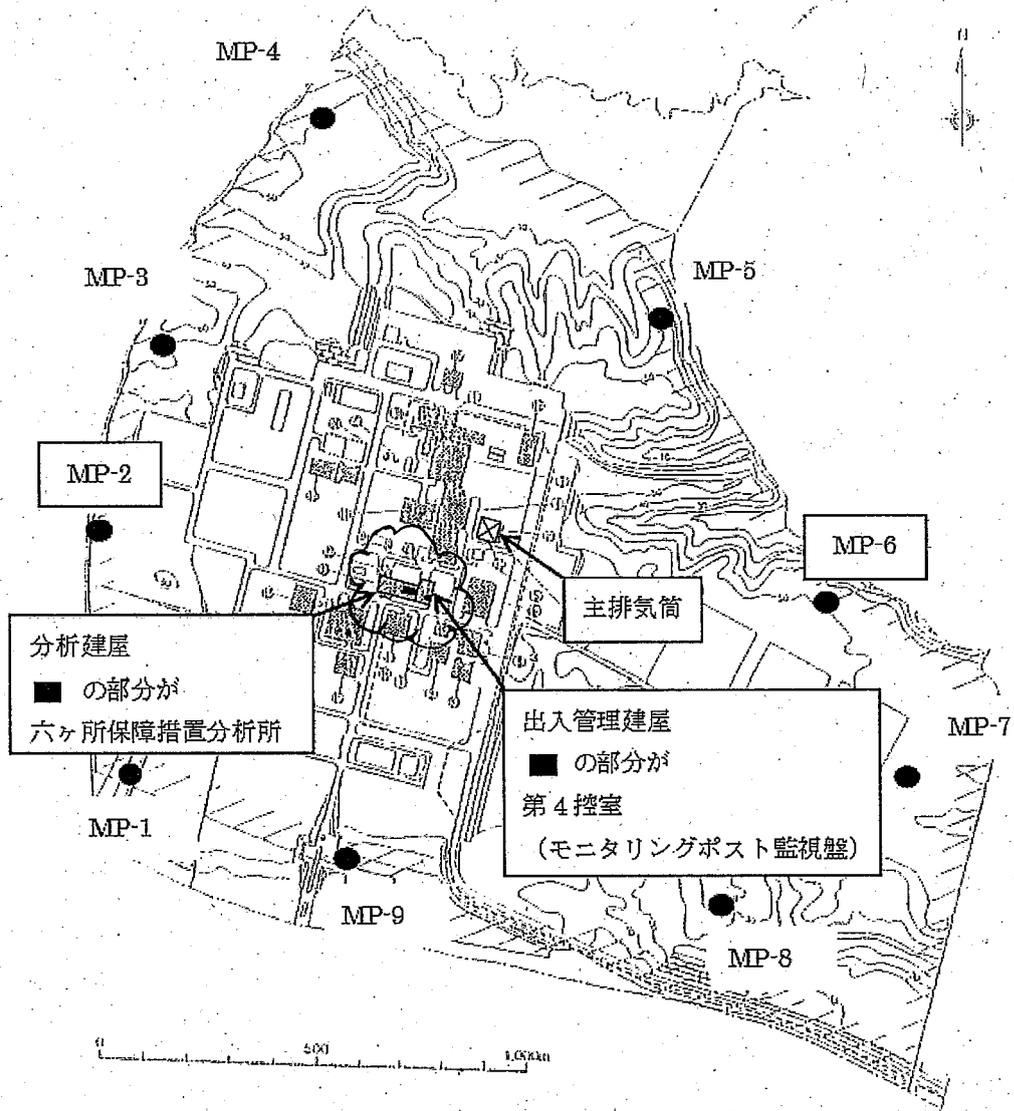


六ヶ所保障措置センター及び六ヶ所保障措置分析所 敷地周辺図

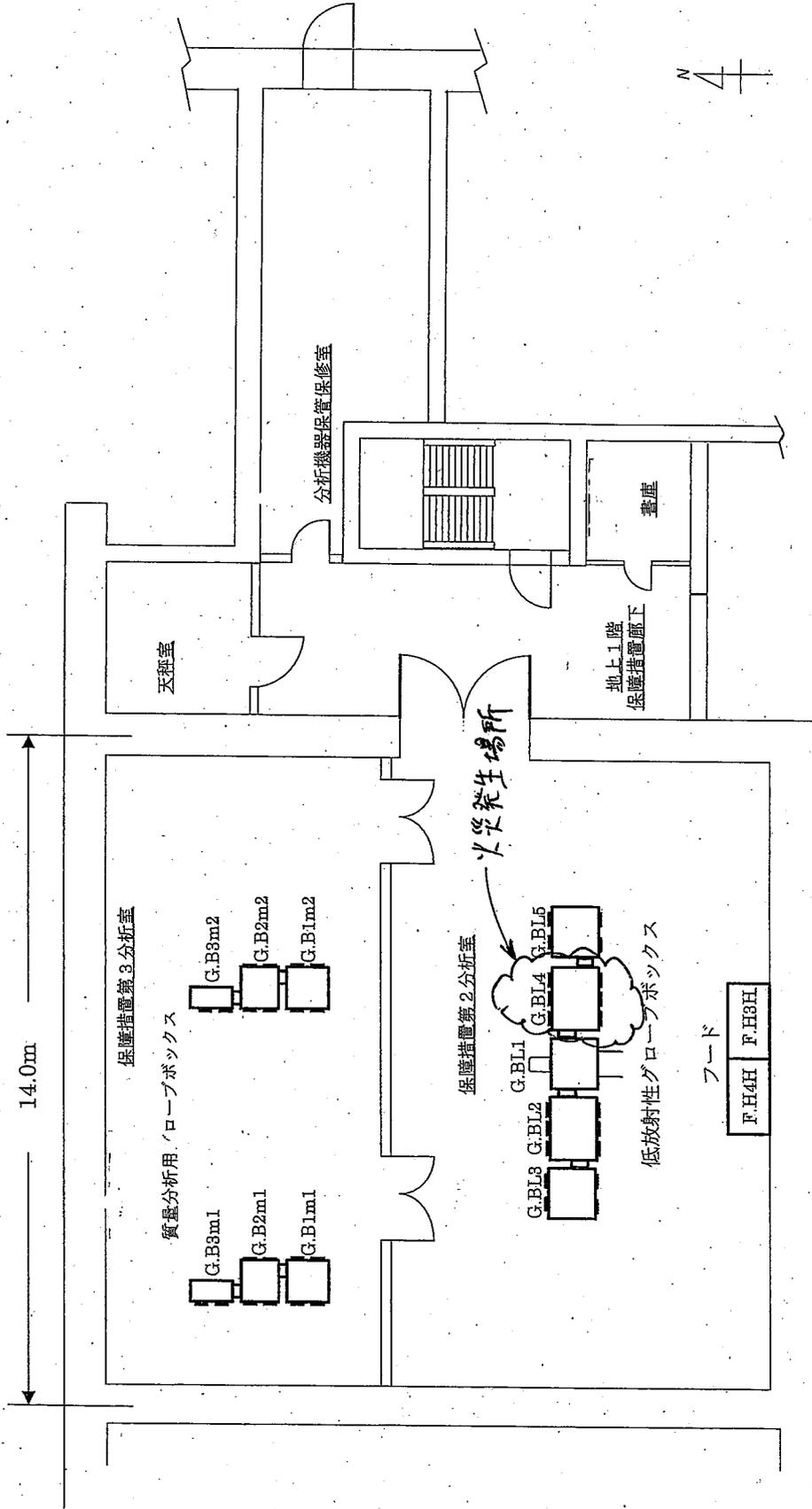
## 資料 2



六ヶ所保障措置センター及び六ヶ所保障措置分析所 施設配置図



六ヶ所保障措置分析所及びモニタリングポスト配置図  
(モニタリングポストの内、MP-2、6が日本原燃㈱と共用)



六ヶ所保護措置分析所 地上1階平面図